

## 平成29年度第1回木更津市史編集委員会 会議録

1. 会議名 平成29年度第1回木更津市史編集委員会
2. 開催日時 平成29年7月27日(木) 午後3時15分～午後4時00分
3. 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室B
4. 出席者 市史編集委員会委員 出席8名  
梶山林継委員長、成田篤彦副委員長、川戸貴史委員、實形裕介委員、  
島立理子委員、石和田秀幸委員、谷畑美帆委員、石井良幸委員  
教育委員会事務局6名  
高澤茂夫教育長、堀切由彦教育部長、岩埜伸二教育部次長、山口玲子文化課長、  
小高幸男主幹、寺原進主事
5. 議題及び公開又は非公開の別  
議題 委員長、副委員長の選出(公開)  
報告1 平成28年度木更津市史編集委員会会議内容(公開)  
報告2 木更津市史編集部会設置状況(公開)  
報告3 各専門部会活動報告(公開)  
報告4 その他研究機関との共同調査  
報告5 平成29年度実施予定事業
6. 傍聴人 なし  
事務局(小高主幹)

定刻になりましたので、ただいまから 本年度第1回木更津市史編集委員会を開会いたします。ここからの進行を務めます文化課の小高でございます。よろしく願いいたします。本日の市史編集委員会は、池田委員、山口委員から都合により欠席の連絡がありましたのでご報告いたします。会議につきましては、附属機関設置条例第6条第2項の規定により、成立しております。また、会議は公開で行ないますので ご了承下さい。

はじめに、高澤教育長よりごあいさつ申し上げます。

高澤教育長 みなさんこんにちは。教育長の高澤でございます。各委員の皆様には今年度第1回目の市史編集委員会にご出席いただきありがとうございます。これまで編集委員会にご尽力いただきました金子馨委員長、三浦茂一副委員長が、この度ご勇退になりました。替わりまして石和田委員、谷畑委員に加わっていただきました。これまでのご経験を活かしてご助力いただきたいと存じます。よろしく願いします。

さて、今般の新しい『木更津市史』の編さんにつきましては、長丁場ではありませんけれども、平成 42 年度を目標年度として「通史編」「史料編」「民俗編」「自然編」の中で全 25 巻を発刊していきたいと考えています。従いまして、各専門部会のほうで調査研究を始めていただいているわけですが、今年度、考古部会、古代部会、中世部会を新たに立ち上げさせていただきました。各部会の皆様の熱心な研究成果を大いに期待しております。編集委員会委員の皆様にも是非ご協力いただければと思っております。

このあと、新しい編集委員会になりましたので、委員長、副委員長の選出。そして、その他報告事項として事務局から報告させていただきます。是非、委員の皆様には忌憚ないご意見をいただきたいと存じます。今後ともご協力を切にお願いします。

事務局（小高主幹）

続きまして、ご就任された委員皆様より、お 1 人ずつ自己紹介をお願いいたします。

（各委員自己紹介）

（事務局紹介）

（資料確認）

事務局（小高主幹）

それでは、議事に入ります。議長は本来は委員長が務めることとなっておりますが、これまでの市史編集委員会は平成 29 年 6 月 30 日をもって任期が終了しております。従いまして、委員長、副委員長を改めてご選出していただく必要がございます。委員長、副委員長が選出されるまでの間、議事の進行を、堀切教育部長が務めさせていただくことといたしたいのですが、よろしければ、挙手をお願いいたします。

（挙手確認）

挙手全員ですので、堀切教育部長に議事の進行をお願いいたします。

堀切教育部長 教育部長の堀切でございます。委員長、副委員長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。

委員長ならびに副委員長の選出につきまして、改めて事務局より説明願います。

事務局（小高主幹）

1 ページに掲載しております附属機関設置条例第 4 条の規定により、委員長及び副委員長の選出は、委員の互選とされております。そこで委員長 1 名、副

委員長 1 名の選出をお願いするものでございます。

堀切教育部長 事務局より、委員長 1 名、副委員長 1 名を選出願いたいとのことでございます。選出について、委員の皆様のご意見はいかがでしょうか。

石井委員 事務局の案がございましたら、お願いします。

堀切教育部長 石井委員から、「事務局の案は」というご意見がありました。事務局として提案はありますか。

事務局（山口文化課長）

事務局といたしましては、これまでの市史編集委員会におきまして、長きにわたりご尽力をたまわっております梶山林継委員に委員長を、また、副委員長には前回に引き続き成田篤彦委員を提案させていただきます。

堀切教育部長 事務局より提案がございました。委員長に梶山林継委員、副委員長に成田篤彦委員という提案がございました。いかがでしょうか。

意義がなければ挙手をお願いいたします。

（挙手確認）

堀切教育部長 挙手全員です。委員長を梶山林継委員、副委員長を成田篤彦委員をお願いいたしますと存じます。委員の皆様には、ご承認の拍手をお願いいたします。

（委員拍手）

堀切教育部長 それでは、委員長、副委員長選出については、これで終了とさせていただきます。これで議長の職を解かせていただきます。ありがとうございました。

事務局（小高主幹）

それでは、委員長、副委員長が決定いたしました。代表して梶山委員長よりご挨拶をたまわりたいと存じます。

梶山委員長 しばらくの間、務めさせていただきます。よろしく申し上げます。

事務局（小高主幹）

ありがとうございました。それでは、これからの議事進行を梶山委員長をお願いいたします。

梶山委員長 それでは、報告事項ということなので、報告事項に入りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

事務局（寺原主事）

それでは、報告いたします。2 ページをご覧ください。報告 1 といたしまして、平成 28 年度市史編集委員会について、でございますが、昨年度は 3 回行い、これから刊行していく『木更津市史』や、『木更津市史研究』等に係る著作物の取り扱い、執筆要項等について協議いただきました。これを踏まえて、今

年度より『木更津市史研究』等を発行してまいります。なお、会議録は、市のホームページまたは行政資料コーナーで公開しております。

続きまして、報告 2 の木更津市史編集部会設置状況について、でございます。今年度より、考古、古代、中世の専門部会を立ち上げ、合計 7 部会 44 名の方をお願いしております。依頼している方々は、名簿のとおりでございます。このうち、2 人の方は二つの専門部会を兼任していただいております。なお、古代部会については、部会委員の増員を図ってまいりたいと考えております。編集委員会委員の皆様からも、ご推薦いただける方がおりましたら、よろしくお願ひします。

続きまして、報告 3 の各専門部会活動報告について、でございます。3 ページから 9 ページをご覧ください。本年 1 月から 6 月まで、近世、近現代、民俗、自然の四つの専門部会の活動内容を掲載しております。それぞれの専門部会における課題点、懸案事項について報告をいただいておりますので、対応を考えてまいりたいと存じます。なお、考古、古代、中世部会については、今年度 4 月に設置したので、7 月から 12 月までの活動とまとめて報告いたします。

続きまして、報告 4 のその他研究機関との共同調査について、でございます。9 ページをご覧ください。千葉県立中央博物館において、重点研究事業「千葉県内における維管束植物の分布変遷」を進められており、昨年度から木更津市の植物相調査を自然部会と共同で調査しております。その調査成果については、『木更津市史』に掲載していただく予定です。その他、中央大学文学部鈴木研究室と、一橋大学大学院若尾研究室により近世の書籍の出版・流通システムや教育の普及と読者の成立状況等に関する調査を、各地で進められており、今年度から木更津市図書館が所蔵する和本に関する調査を、近世部会と共同で行っております。現在は、目録作成を主として行っております。なお、調査成果については『木更津市史研究』等で公表いただければと考えております。

最後に、報告 5 の今年度に予定する事業について、でございます。まず、木更津市史編さん事業公開講座については、民俗部会による調査成果に関する講演を予定しております。開催日は 12 月頃で、決まり次第、委員の皆様にもご案内いたします。

その他、『木更津市史編さんだより』第 2 号、『木更津市史研究』創刊号、そして『木更津市史編さん事業公開講座記録集』については、刊行予定日に発行できるよう準備を進めてまいります。なお『木更津市史研究』につきましては、皆さまへ原稿の依頼を出させていただいておりますが、ご協力のほどよろしく

お願いします。

また、皆さまのお手元にご用意した『広報きさらづ』7月号で、市民の方々に市史編さんにかかわる資料の所在や情報提供をお願いしております。今のところ、4件の情報提供があり、写真等の資料を借用しております。

私からの報告は、以上でございます。

梶山委員長 ありがとうございます。只今、事務局から議題について説明がありました。委員の皆さん、質問はございますか。

広報きさらづ7月号に「探しています75年前の木更津」とありますが、昭和17年が市制施行年で、確かこのあとに市史が出ていませんでしたか。

事務局（小高主幹）

市制施行10周年の昭和27年に『木更津郷土誌』を発刊しております。

梶山委員長 わかりました。その他、特別ご質問がなければ先に進めますがよろしいですか。それでは、報告事項ということで内容を確認したということでよろしいでしょうか。他に、事務局からありますか。

石井委員 （郷土博物館金のすずの紹介。『金鈴塚古墳研究』第5号の発刊。7月15日から8月31日までの間、博物館を無料開館。市制施行75周年記念事業 特別展「木更津の中世～真里谷武田氏とその時代～」開催案内。）

梶山委員長 確か、金鈴塚古墳の出土品については、佐倉の歴史民俗博物館と共同研究をやっていると思いますが、その経過はどうなっていますか。

石井委員 （金鈴塚古墳出土品共同研究他の説明）

梶山委員長 わかりました。共同研究は相手がいることですから、中々思うようにはいかないと思います。また委員の先生方も色々なことで関係してくると思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

他に質問がないようでしたら、本日の議事は以上で終了とします。このあとは事務局にお返しします。

事務局（山口文化課長）

梶山委員長、議事進行、ありがとうございます。以上を持ちまして、第1回木更津市史編集委員会を終了いたします。なお、次回の市史編集委員会については、11月以降を予定しております。日程が決まり次第、お知らせいたします。本日は、ありがとうございます。

平成29年7月27日

議事録署名人 木更津市史編集委員会

委員長 梶山 林継